



しののめ Y M C A こども園 園だより

2025 年度 12 月号
発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」
わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

12 月聖句 「その名はインマヌエルと呼ばれる。」
この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。
マタイによる福音書 1 章 23 節

秋をゆっくりと味わう間もなく、朝夕の冷え込みに冬の気配を感じるようになりました。街路樹も季節の移り変わりに戸惑っているのか、まだ紅葉した葉が美しく残っています。

10 月 24 日には、年中組とともに「お芋掘り遠足」に出かけました。今年も豊作で、大きなお芋をたくさん収穫することができました。日頃なかなか土に触れる機会が少ない子どもたちは、最初は指先でそっと、少し怖がりながら土を掘っていましたが、悪戦苦闘しているうちに汚れることを恐れず全身を使ってお芋を掘り起こす姿へと変わっていきました。

11 月には、こども園全体で「収穫感謝礼拝」を守りました。子どもたちは好きな果物を持ち寄り、太陽、雨、土、種、苗等…神様が与えてくださる恵みによって作物が育ち、実り、私たちがそれをいただけることに感謝をいたしました。また、私たち一人ひとりが成長していくことも、神様が見守ってくださっていることを覚えました。11 月 17 日、第一アドベントの礼拝を守り、いよいよイエス様のご降誕を祝う準備の時に入りました。園舎の窓やドア、ロビーも少しずつクリスマスの装いに変わっていきます。どうぞ、その変化を楽しみにしてお過ごしください。各教室では静かな時間が流れています。枝と毛糸を用い、学年に応じたオーナメントづくりが行われています。子どもたちは、自分の思い描く色の毛糸を選び、個性豊かな色彩のオーナメントを完成させています。毛糸を巻いている時間の中で、バングラデシュの子どもたちへの想い、友だちや家族への感謝の気持ちを心に抱きながら取り組んでいます。出来上がったオーナメントはお家に持ち帰りますので、色の美しさや仕上がりを褒めていただくと同時に、「どんな気持ちで作ったの？」と、ぜひ心の内を聞いていただければ幸いです。

いつもとは少し違う雰囲気のアドベントのこども園で、静かに手を動かしながら過ごす時間を大切に、全ての人を愛し、御子イエス様をこの世に贈ってくださった神様の愛を感じながら、皆様と共に子どもたち一人ひとりに愛を注ぎ、4本の灯を灯しつつ、神様の愛に包まれたクリスマスをお祝いしたいと願っております。

こどもたち、保護者の皆様、そして先生方とともにクリスマス礼拝を守ることを心待ちにしております。引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。